

# 諏訪・岡谷地方の経済概況速報

平成19年12月

(平成19年11月末調査)

平成19年12月14日  
長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

**諏訪信用金庫**  
**経営相談室**

<http://www.suwashinkin.co.jp>

TEL 0266(23)4567

FAX 0266(23)8044

		実 数	前年同期比	
有効求人倍率【10月】	諏訪公共職業安定所管内	1.24倍	+0.05ポイント	
	岡谷公共職業安定所管内	1.43倍	△0.17ポイント	
手形交換高【11月】 (諏訪手形交換所扱)	枚 数	11,241枚	△708枚	
	金 額	12,907百万円	△1,234百万円	
	うち不渡り発生状況	枚 数	1枚	△1枚
		金 額	23千円	△387千円
車庫証明取扱件数【11月】(諏訪・岡谷自動車協会管内)		1,115件	+3.5%	
新設住宅着工件数【19年4月～10月】(諏訪管内)		934戸	△342戸	

## 地域の概況

### ●製造業

自動車部品は引き続きコストダウン要請が続いているものの、受注は総じて堅調で高水準の生産を続けているところがみられる。工作機械は自動車部品加工機など安定した受注がみられるが、汎用機械の動きは依然弱いものがある。半導体関連、液晶関連の設備受注は弱含みとなっているが、部品加工は幾分増加したところもみられ、一眼レフ鏡枠加工は引き続き好調な受注が続いている。電気機器、携帯電話部品の受注状況は企業により区々となっており、携帯電話の部品はメーカーや機種により受注変動がみられる。

地域製造業は、自動車関連、交換レンズ関連、専用機などで順調な生産を続けている企業が見られるが、総体の受注状況は前月比では幾分増加しているものの昨年同期までの水準には達していない模様である。

素材価格や原油価格の高騰の影響からメーカーのコストダウン要請が続き、下請企業はコスト吸収に苦慮しており、地域製造業の業況は横這い状況となっている。

### ●商業

諏訪地方の11月の天候は、中旬から下旬にかけて冬型の気圧配置となるも本格的な冷え込みとはならず、寒暖の差の大きい月となった。

灯油価格の上昇から、住居関係で湯たんぽや羽毛布団、省エネ機能の高いエアコン、衣類関係で保温下着などが売れ行きを伸ばすなどの影響がみられた。

また、食料品全体の卸売価格が上昇傾向であるが、小売段階の競争が激しく販売価格には転嫁できていない。

## ●観光業

例年 11 月は秋と冬の観光シーズンの狭間で幾分低調な時期となるが、雨天が少なかったことやNHK大河ドラマ「風林火山」の影響もあり、地域全体としての入り込み客は例年を幾分上回った模様である。一方、宿泊客数はホテル旅館により増加減少区々となっており、前月までの全体的な増加基調から幾分弱含みとなっている。

上諏訪温泉の宿泊客は、総体では前年を幾分上回っているが、ホテル旅館により増加減少の幅が大きく業況感が分かれている。

蓼科・白樺湖・車山方面は、ホテル旅館により増加減少区々であるが、総体では幾分前年を下回った模様である。

諏訪大社（上社・下社）の 11 月の参拝客数は 76 千人で、前年同月比 7 千人の増加となっている。七五三の参拝客や団体のバスツアーにて賑わいをみせた。

## ●建設業

市町村の 11 月の発注工事は、建築工事 9 件 37 百万円、土木工事・下水道工事 63 件 362 百万円、その他工事 12 件 43 百万円の合計 84 件 443 百万円で、前年同月比では△157 百万円の減少となっている。

県関係の 11 月の公共工事（地元業者受注分）は 28 件 150 百万円で、平成 19 年 4 月～11 月の累計契約額は 5,462 百万円と前年同期累計比では 1,948 百万円の増加となっている。

民間工事は、諏訪地方の 10 月の新設住宅着工件数は 100 戸で前年同月比△18 戸減少した。6 月の建築基準法改正に伴う建築確認申請の長期化により、工事着工に混乱がみられる。

## ●雇用

10 月の有効求人倍率は、諏訪公共職業安定所 1.24 倍、岡谷公共職業安定所 1.43 倍で、諏訪地域の有効求人倍率は 1.30 倍と全国（1.02 倍）及び長野県（1.14 倍）を上回っている。

諏訪職安と岡谷職安を合わせた 10 月の新規求人（全数）は 1,376 人で前月比△197 人の減少、前年同月比△26 人（△1.9%）減少となっているが、新規求職者数は前年同月比 47 人（5.7%）の増加となっている。

諏訪地域の有効求人倍率は、平成 15 年 10 月以降 49 ヶ月連続して 1 倍を上回っている。

## 業界別動向

### 1. 電気機械

プリント基板	受注状況は増加した企業もみられるが、業界全体では幾分減少している模様。
コンデンサー	自動車用コンデンサーの受注は安定している。
プリンター	大型プリンターの生産は安定している。部品加工は一部増加したところもみられるが、アッセンブリーや検査などの下請企業総体の受注量は横這となっている。
コンダクター・リレー	受注は安定しており堅調に推移している。

### 2. 輸送用機械

自動車	受注単価は依然厳しいものの受注量は安定している。品質検査工程の強化に取り組むところもみられる。
ピストンリング・シリンダーライナー	メーカーの海外生産体制の増強もあるが当面受注は安定している。
船外機	安定した受注が続いている。

### 3. 一般機械

工作機械	自動車関連の工作機械は堅調な生産を続けており、汎用機の受注の動きは幾分弱いものの総体では高水準の生産が続いている。
専用機・省力機器	自動車関連や、プラスチックレンズカッター機、情報機器関連専用機など繁忙な生産を続けているところもみられるが、受注不足のところもみられる。受注単価が下がっており苦慮しているところもみられる。
搬送用機械	幾分受注回復の動きがみられる。
金型	音響機器関連の受注の回復は弱いものの、自動車部品、医療機器など堅調な受注のところもみられる。
アルミダイキャスト	高水準の受注を抱え繁忙なところもみられるが、受注回復が遅れているところもみられ、総体では区々となっている。

### 4. カメラ・レンズ

デジタルカメラ	全国のデジタルカメラの10月の生産台数は1,249万台で、前月比10.4%増加、前年同月比41.3%増加となっている。10月の出荷台数は国内出荷89万台、海外出荷1,135万台で、出荷台数全体では前月比6.0%増加、前年同月比28.5%増加となっている。(カメラ映像機器工業会) デジタル一眼レフ関連の受注は引き続き旺盛となっている。
---------	---

プロジェクター  
レンズ

最終工程は海外に移行しており国内の部品加工は減少している。  
国内の生産は縮小しており横這い状況が続いている。

## 5. 織 維

ニット

春物商品、サンプル商品などの生産に追われるところもあり、業界には中国からの生産回帰の動きが一部にみられる。

## 6. 食 品

寒天  
味噌

生産時期を前に準備が進んでいる。出荷は前年並みとなっている。  
需要期を向かえ業界総体では順調に出荷が進んでいるが、原材料の値上がりなど価格対応に苦慮している。

## 7. 製 材

諏訪地方の10月の木造住宅着工件数は73戸で、前年同月比△11戸減少した。全国的に住宅着工件数が減少し木材の動きが弱いなか、角材や材木の価格も値下がり傾向となっている。

## 8. 建 設

公共工事

11月に地元業者が受注した県関係の公共工事は、発注機関別に諏訪建設事務所10件、林道治山工事関係16件、その他2件の合計28件、契約金額150百万円となっている。平成19年4月～11月の累計契約額は5,462百万円と前年同期累計比では1,948百万円増加となっている。市町村の11月の発注工事は、建築工事9件37百万円、土木工事・下水道工事63件362百万円、その他工事12件43百万円の合計84件443百万円で、前年同月比では△157百万円の減少となっている。

民間工事

諏訪地方の10月の新設住宅着工件数は100戸で、前年同期比△18戸減少した。価格競争が厳しく受注単価が下落傾向にある中で、6月の建築基準法の改正に伴う建築確認申請事務の長期化の影響により、工事着工に混乱がみられる。

## 9. 商 業

諏訪地方の11月の天候は、中旬から下旬にかけて冬型の気圧配置となるも本格的な冷え込みとはならず、寒暖の差の大きい月となった。

灯油価格の上昇から、湯たんぼや羽毛布団、保温下着や省エネ機能の高いエアコンが売れ行きを伸ばすなどの影響がみられた。また、食料品全体の卸売価格が上昇傾向であるが、小売段階の競争が激しく販売価格には転嫁できていない。

衣料	朝夕が冷え込んだ日には保温下着などの実用衣料や防寒衣料の動きがみられたが、総体では前年を幾分割り込んだ模様。
食料品	食料品全体の売上げは平年並みであるが、多くの食料品の卸売価格が上昇しているなかで小売価格に転嫁できず、収益性は弱含みとなっている。
家電製品	薄型TVは堅調な動きであり、暖房機器では灯油価格の上昇から省エネ機能の高いエアコンが売れ行きを伸ばしている。
自動車	諏訪・岡谷を合わせた11月の車庫証明件数（軽自動車除く）は、1,115台で前月比△90台（△7.5%）の減少となっているが、前年同月比では38台（3.5%）の増加となっている。また、軽自動車の販売台数は366台で前年同月比△72台（△16.4%）の減少となった。
ホームセンター	灯油価格の上昇などから湯たんぼの売れ行きが例年の倍近くとなっている。クリスマス用の電飾関係等の動きもよい。
デパート	お歳暮商戦の出足は好調であり、例年を上回る動きとなっている。

## 10. 観 光

例年11月は秋と冬の観光シーズンの狭間で幾分低調な時期となるが、雨天が少なかったことやNHK大河ドラマ「風林火山」の影響もあり、地域全体としての入り込み客は例年を幾分上回った模様である。一方、宿泊客数はホテル旅館により増加減少区々となっており、前月までの全体的な増加基調から幾分弱含みとなっている。

上諏訪温泉	宿泊客数は総体では前年を幾分上回っているが、ホテル旅館により前年より大きく増加しているところと、減少しているところの差がみられ業況感が分かれている。
蓼科・白樺湖・車山	宿泊客数は、ホテル旅館により増加減少区々であるが、総体では幾分前年を下回った模様である。
下諏訪温泉	七五三の会食などで賑わったところもみられ、宿泊客数も総体では前年を上回ったところが多い。
諏訪大社	上社・下社を合わせた11月の参拝客数は76千人で、前年同月比7千人の増加となっている。七五三の参拝客や団体のバスツアーにて賑わいをみせた。

